

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 039	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 日持ち性のある鉢物培養土の究明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 鉢物においても日持ち性が要求されている。 培養土は軽く、安価であり、植物の生育が優れていることが求められるが、さらに、日持ち性向上のため、お客様のもとでも長期間にわたり物理性が維持されることが望まれる。そこで、長期間にわたり理想的な三相分布が維持でき、保肥力がある程度ある培養土の配合について究明をお願いしたい。 鉢物（シクラメン生産者） 80戸	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部土壌環境研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 環境保全型農業を推進するための技術開発 2 環境に優しい環境保全型技術の開発 (2) 簡易土壌診断・施肥診断技術の開発		
対応の内容等	鉢物培養土の理化学性については1970年代から多くの成績書も出ておりますが、最近使用が始まったココピート等の資材もあることから、今後もこれらを含めた鉢物培養土の理化学性評価基準の策定を目指して、継続して検討していきます。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			